

令和5年度 学校評価報告書（浜田高等学校 定時制課程）

※評価基準(4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い / A:4.0～、B:3.0～、C:2.0～) ⇒			自己評価				学校関係者評価		次年度への改善策	
			R5末	R5中	R4末	評価	意見・要望・改善案	評価		コメント
【1】学校運営	1	重点目標に基づいた教育活動ができるよう分掌への働きかけは適切であったか	3.3	3.3	3.3	A	適材適所の人員配置を心がけているつもりだが、業務の偏り等出てしまった。次年度の校内人事等で改善できることは改善したい。	A	・業務の偏りについてしか触れていない、自己評価としてはもう少し他の面についても触れるべき。	・学校アシスタントをうまく活用し、業務の偏り等の是正につなげる。
	2	教職員の教育活動に対する取り組みへの協力は適切であったか	3.5	3.3	3.3	A				
	3	運営委員会・職員会議・課程会議の運営は適切であったか	3.4	3.4	3.4	A				
	4	校内組織の編成は適切であったか	3.1	3.1	3.2	A				
【2】総務	5	年間行事を、全日制・通信制・各分掌と調整し、適切に計画したか	3.5	3.4	3.4	A	各分掌との連絡調整に努め、相互理解による学校行事の円滑な運営→今の取り組みを今後とも継続していきたい。 危機管理意識の高揚→消防署の指導を受けることができて大変よかった。次年度は起震車呼んで体験をしたい。(1事業所に年1回と限定)防犯訓練は毎年行って対応がよくなっているという評価を警察からいただいているので、継続していきたい。 円滑な情報処理と適正な情報管理及び発信→配信アプリへの移行がスムーズにでき、登録が100%になった。HP更新の講習・呼びかけなどにより心がけていきたい。新入生・未登録者へのアプリ登録呼びかけに努める。	A	・様々な取組を行っており、ぜひ継続していただきたい。	・今年度の取組を継続するとともに、危機管理については、新たな取り組みも組み入れ、更なる危機管理意識の高揚に努める。
	6	儀式的行事の運営は適切だったか	3.6	3.3	3.3	A				
	7	奨学金制度についての広報及び手続は適切だったか	3.4	3.4	3.3	A				
	8	教員及び生徒の危機管理意識を向上させることができたか	3.3	3.3	3.2	A				
	9	HPへの記事掲載が頻繁に行われるよう、行事等担当者への働きかけは適切であったか	3.1	3.3	3.2	A				
【3】教務	10	出席率を向上させるための働きかけは適切であったか	3.2	3.3	3.2	A	「主体的で対話的で深い学び」を通して、確かな学力(ダヴィンチ・ゴールズ)を育成する→新教育課程2年目になり、新しい学習指導要領に則った授業展開を各先生方が意識されて授業展開がなされていると感じている。年度末に各科目で実施された内容を提示していただき、共有化を図りたい。授業展開や評価の方法の共有化を図り、統一できるところを模索したい。今年度、2年目になるが全日制司書の先生にお世話になり実施することができた。また、図書館の模様替えも実施していただいた。来年度も実施したい。 通信制、全日制との連携→年度の使用教室のトラブルは特に全日制の協力により、昨年度よりさらに減少した。中学校からの学校見学は、中学生の実情に合わせてさらに細かく対応した。引き続き、努力したい。 教務規程および教務内規の実施と検証→新教育課程に伴う、教務規定や内規的部分的な見直しを行ってきた。規程集へ掲載する形にしていきたい。	A	・図書館の記述等、全日制の資源を可能な限り活用するのはよい方向性である。 ・学び直しの教材や学校独自のカリキュラムの工夫等はしているのか。 ・生徒への支援は協力できるところはしっかりと協力していきたい。	・教科間でも連携や共有を図り、生徒の学習活動がスムーズに進むように工夫する。
	11	生徒の出欠・成績に関する共通理解を図るための情報提供は適切であったか	3.5	3.3	3.5	A				
	12	年間曜日設定及び曜変により、バランスのとれた授業時数の確保につなげたか	3.6	3.4	3.4	A				
	13	授業実施において、通信制・全日制との調整を適切に行ったか	3.5	3.4	3.3	A				
	14	図書館及び蔵書の管理は適切であったか	3.4	3.3	3.3	A				
	15	生徒が積極的に読書するよう、適切な働きかけを行ったか	3.1	3.1	3.1	A				
【4】生徒	16	生徒にTPOに応じた身だしなみやふるまい・マナーを意識させることができたか	3.2	2.9	3.0	A	基本的な生活習慣の確立→各クラス担任と協力しながら開終礼、HR活動、各種行事等を通じ粘り強く指導していきたい。毎日の終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。 生徒理解と指導・支援の充実→毎日の終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。校内では特別支援教育コーディネーターや保健部(養護教諭)と連携を図りながら、外部機関も活用することで、保護者と生徒の思いや願いに丁寧に寄り添い支援を行っていきたい。 生徒会活動や各種行事の充実→生徒会執行部の生徒を中心に各種行事の企画・運営を行い、学校全体の連帯感の醸成を図るとともに、生徒個々の充実感や意欲向上、生徒同士の人間関係構築につなげていきたい。生徒部以外の教員にも委員会担当をに就いてもらい、教職員・生徒が一体となって各種委員会活動に取り組むことで、学校全体の活力にするとともに、生徒の自己有用感も高めていきたい。	A	・校内連携及び、外部との連携により一層磨りあげてほしい。	・担任同士でも連携をとり、日々の指導を大切に、生徒の成長を促していく。 ・引き続きの情報共有を大切に、研修の機会等を活かして生徒理解に努める。
	17	生徒会執行部の活動をはじめ、各種委員会活動を活性化させることができたか	3.5	3.4	3.3	A				
	18	生徒会行事がスムーズに運営できたか(総会、交流会、スポーツ大会、送る会)	3.5	3.3	3.3	A				
	19	安全・安心な学校づくりのために、いじめ防止に努めたか(アンケート、生徒理解)	3.3	3.2	3.2	A				
	20	人権・同和教育は計画的に推進されたか(推進委、HR活動、たより、教職員研修等)	3.3	3.4	3.4	A				
	21	道徳教育は計画的に推進されたか(ふるまい推進、コミトレ、教職員研修等)	3.3	3.4	3.3	A				
【5】進路	22	定時制通信制の連携のとれた進路指導体制を構築できたか	3.2	3.3	3.3	A	他者と協働し地域社会に貢献できる人材の育成→各種情報交換会や企業・学校見学やインターンシップなど連携の機会を利用して情報交換をすることができた。外部講師を活用した講座やガイダンスを予定通り実施できた。その後の生徒へのフォローの方法については検討の余地がある。講演等を通じて、生徒が学んだり、理解したりしたことを実践できるようにするための支援が必要である。キャリアパスポートの利用方法についてさらに検討をし、講座や研修後に継続的な指導ができるように役立てたい。 生徒一人一人が志を立てて志を遂げるために努力する主体的な進路実現の支援→ 予定通り進路主催行事を実施できた。事後アンケートや感想を見ても進路について考える上で役立ったという回答が多い。さらに内容の充実をはかり継続していきたい。進路専用の掲示板を活用し、オープンキャンパスや入試情報等を生徒に提供した。ただし、送られてくる案内があまりに多く、スペースがなかったため、今年度に関しては県内のものを優先的に掲示することとした。パンフレット類を生徒が手に取りやすくする必要があると感じた。 生徒一人一人を大切に多様な進路希望に対応する進路指導→進路希望調査(4,9月)、進路適性検査(5月)の実施予定通り実施し、共有することができた。	A	・社会との接続が大切である。 ・Bがついている項目はなぜか。→多様な生徒が増えて、進路指導についても様々な情報が必要となってきたため、そのため少し低い評価がついた。	・キャリアパスポートの効果的利用等検討を進める。 ・担任と進路部との連携をしっかりとる。 ・インターンシップやグループ別研修等を通じて、社会とつながることの必要性、重要性を意識させていく。
	23	4年間を見通した進路計画が作成できたか	3.1	3.1	3.3	A				
	24	インターンシップは適切に行われたか	3.4	3.4	3.5	A				
	25	担任が進路指導ができるよう、適切な情報を提供したか	3.0	3.2	3.3	B				
	26	進路行事(進学・就職説明会、企業・学校見学、進路ガイダンス)の内容は適当なものであったか	3.2	3.2	3.3	A				
【6】保健	27	心と体の健康講座のテーマと時期の設定は適切であったか	3.5	3.4	3.4	A	生徒の興味関心を引き出し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導→外部講師を招き計画的に実施した。事後のアンケート結果から、心と体の健康への興味関心が高まり効果的な指導につながった。次年度も計画的に外部講師等を活用した心と体の健康講座の実施に努める。 (定通)次年度は6月に「性に関する指導」、10月に「食育」、12月に「薬物に関する指導(2年目)」を定時制・通信制共催で行うことを予定している。 生徒が自分の健康状態を把握するための支援→保健調査実施により生徒の健康状態を把握できた。健康観察については担任に働きかけ、昼間部夜間部とも実施することができた。次年度も引き続き、保健調査・健康観察を行い、生徒の健康状態の把握に努め、受診することの大切さを伝えたい。 相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり→相談支援スタッフ(SC・SSW・KS)による1年生全員面談は年度当初に実施した。2年生については1月末～2月にかけて実施予定である。SCの時数追加配置(61h増)により、ゆとりをもって計画することができた。今後もSC、SSW、KS(教育相談員)をより有効的に活用できるよう配置時間増を要望したい。教員間の情報共有を今後も心がけたい。	A	・SC、SSW、KSの相談体制は十分であるか。	・引き続き、外部機関を含め、様々な所と連携を取りながら、生徒の心身の状態の把握に努め、成長につながる支援のあり方を模索していく。
	28	健康観察、健康診断による健康状態を把握し、生徒が自己管理できるように働きかけたか	3.4	3.5	3.4	A				
	29	SC、教育相談員などの援助の活用と関連機関との連携を図り、相談・支援事業の充実につなげたか	3.4	3.4	3.5	A				
	30	(特支)関係者・外部団体と連携し、情報交換会を開催したか	3.7	3.5	3.3	A				
	31	(特支)研修は適切だったか	3.6	3.4	3.2	A				
	32	日々の学習に真面目に取り組んだか	3.0	3.0	3.0	B				
【7】ルーム	33	時間を守ることができたか	3.0	3.0	2.9	B	・学年が上がるにつれてルーズな面が強くなる生徒がおり、どのタイミングでどのように指導していくのか教員間の連携がより必要になっている。 ・学校アシスタントが授業補助に入ってくれて助かっている。	B	・元々多様な生徒たちがいるので努力しても結果は厳しくなることは理解できる。 ・学校アシスタントの授業補助とはどのようなものか。→教材へのルビ振り等である。 ・不登校の生徒が来る教室があってはどうか。	・学年があがるにつれて見えてくる生徒たち個々の課題を共有し、社会の中で生きていくための先々を見据えた指導のあり方を模索していく。
	34	挨拶ができるようになったか	3.0	3.0	2.8	B				
	35	TPOに応じた言葉遣いができるようになったか【2,3年次のみ】	2.7	2.9	3.0	B				
	36	下級生の模範となる行動ができるようになったか【3,4年次のみ】	2.7	2.7	2.8	B				
	37	「自律」できるようになったか【4年次のみ】	3.0	2.8	3.1	B				
【15】事務	38	効率的・効果的な予算執行	3.5	3.4	3.4	A	・会計処理・文書処理等適切かつ迅速に対応してもらった。	A	特になし	今年度同様、迅速かつ丁寧な文書処理、会計処理に努める。
	39	迅速・的確な施設設備の補修・保全と教育環境の整備	3.5	3.5	3.4	A				
	40	事務部と教員の円滑な連絡・調整	3.5	3.4	3.5	A				